

インディー本の取り扱い・こだわり出版・ギャラリーの店シカクのフリーペーパー

シカク月報 2023年 12月

干潟裕子・藤田泰実・村田あやこ 3人展

妄想路上ラプソディー

2023 12/2 sat - 24 sun at シカク

あるかもしれない別世界

観察+妄想+物語

展示のおしらせ

干潟裕子・藤田泰実・村田あやこ 3人展

妄想路上ラプソディー

2023 12/2 sat - 24 sun

街歩きイベントや紙しばいなどのイベントも開催! 詳しくはこちら



道の落ちもん、隙間の緑、植物がもじゃもじゃすぎる家。どんな街にもあるかもしれないけれど、つつい通り過ぎてしまう、何気ない風景。そこに広がる小さな別世界。観察+妄想+物語をかけあわせ、脳内飛行にいきないます! もじゃハウスプロダクツ・干潟裕子、落ちもん写真収集家・藤田泰実、路上園芸鑑賞家・村田あやこによる3人展。模型や写真、イラストで、あるかもしれない別世界をお届けします。



展示のおしらせ

ショップキヌガサ NO.1



なんだかふしぎ? へんてこ? でもかわいい!
 なんだか気になる植木鉢やキーホルダー、おきものお店「ショップキヌガサNo.1」のポップアップショップを開催!



POP-UP

12/2 sat - 12/24 sun at Shikaku / Osaka



出版のおしらせ

酒の穴 Plain

酩酊 対話集



好評発売中!!

1,100円 (税込)

「チェアリング」という活動を生み出し、いまやテレビ、ラジオ、雑誌、ウェブメディアなどには欠かせない存在となったスズキナオとパリックが、前作「酒の穴」に続き、無益に飲み語る。

読んででもまったく身にならない、だけどひとり酒の時間が少しだけ豊かになる、酩酊対話集第二弾。



死ぬ時に棺桶に入れてほしい本

ザ・ブルーハーツの『ドブネズミの詩』は、THE BLUE HEARTSのメンバーたちによる語録である。読み返す度に僕のパンク・ロックの初期衝動を甦らせてくれる素晴らしい書籍だ。

大学生になったらバンドを結成してパンク・ロックをするものだと思っていた。しかし、オリジナルのパンク・ロックをするような友人はできなかった。それでもパンク・ロックをしたかったから、1人でギターとベース、ドラムを練習していた。

当時、僕を応援してくれるのは田舎で唯一のマイメンだけだった。ある夏、彼は「ブルーハーツ、好きじゃろ?」と言い、THE BLUE HEARTSの『人にやさしく』の8センチCDをプレゼントしてくれた。

その夏から僕を応援してくれるのは5人になった。マイメンとTHE BLUE HEARTSの甲本ヒロトさん、真島昌利さん、河口純之助さん、梶原徹也さんだ。僕が現在(2023年10月)も生存しているのは、マイメンと甲本さんが「ガンバレ!」と言ってくれているおかげだ。

大学を卒業する直前にシカクと出会った。そして、シカクを通して好きなものを話し合える友人たちができた。僕の棺桶に『ドブネズミの詩』を入れるのは彼らに頼みたい。たぶん彼らは写真には写らない美しさがあるということを知っているはずだから。

#####

はやとちりミックス

ロックンロールクレイジーボーイ



店主のひとりごと

◇◇たけしげ"みゆき"◇◇

お店の経営は大変だが、それでも「シカクをやってよかった」と思うハッピーな瞬間がたまにある。その中のひとつに「おみやげや差し入れをよくいただける」ということが挙げられる。

根が暗く「こんな訳のわからない店は誰からも求められていないんじゃないか」という恐れと常に闘っている人間なので、お店に来るだけでなくプレゼントまでいただけるという気持ちが嬉しいというはまず大前提だ。そして私は好き嫌いがほとんどないので、食べ物はなんでも大抵嬉しい。他にご当地もの、珍しいもの便利なもの、好きなキャラクターのグッズなど、とにかく大前提に嬉しさがあるので何をいただいても「ヤッター!!」と小躍りしたくなる。

また私は空腹になるとすぐ低血糖でぶっ倒れそうになる体質なのだが、一人で店番をしていてうっかりおやつを切らしたとき、ふらっと現れた人から食べ物の差し入れをいただくと「命の恩人!!」と崇めたくなる。これで救われた命が何個あったことか。

そういう私自身が人に会いに行くときは、差し入れを準備するのをうっかり忘れて後悔することが度々あった。しかし多くの方から差し入れをいただく嬉しさを教わるうち、最近は準備を忘れることがゼロとは言えないものかなり減った。人の優しさが人を変えた、感動的な事例と言えよう。ただしいざ相手に会うと嬉しくなり、せっかく準備した差し入れを渡し忘れて帰ることは今でも5回に1回くらいあるので、目下その対策が課題となっている。

本の売上ランキング

2023年10月分 (ZINE・出版物の販売数)



チーム4.5畳
団地ブック増刊号02



ジョージ+麗日
町山智浩とライムスター宇多丸は、
映画語りをどう変えたのか?



谷じゃこ
谷じゃこ・なべとびすこ「わりかしワンダーランド01」



そうさめものミキさん
コンピューターゲームのパチモノグッズコレクション2



オールサイン鼠
画集 性善説



全部オススメ!

ここ最近の新作入荷!



- 橋本玲奈
「もやしだけで吞んでみる」 税込550円
- スギモトマコ
「ホステルの本」 税込880円
- 式拾dB
「雑居雑感 3号」 税込1,000円
- ヤマモトケイスケ
「ところで君はゲームブックを読んだことはあるか?」 税込990円

シカク月報がもらえるお店

(順不同、敬称略)

模索舎(東京)、BiblioMania(名古屋)、本屋B&B(東京)、ブックギャラリーポポタム(東京)、FOLK old bookstore(大阪)、古本屋式拾dB(広島)、花森書林(神戸)、タコシエ(東京)、なんば紅鶴(大阪)、シネ・ヌーヴォ(大阪)、雑貨屋ミケちゃん(大阪)、ホホホ座(京都)、ロフトプラスワンウエスト(大阪)、オソプランコ(大阪)、solaris(大阪)、誠光社(京都)、恵文社(京都)、(本)ぼんぼんぼん(大阪)、トランスポップギャラリー(京都)、マヤルカ古書店(京都)、OF(岡山)、ON READING(名古屋)、古本屋YOMS(香川)、古本ながいひる(岡山)、エフノット(大阪)、opaltimes(大阪)、ンケリコ(大阪)、SOMA(大阪)、SPBS本店(東京)、1003(神戸)、TOKYO PIXEL(東京)、FAITH(東京)、画廊モモモグラ(大阪)、喫茶パーパームーン(静岡)、旧グッゲンハイム邸(神戸)、フレイムハウス(大阪)、ブックバーひつじが(福岡)

INFOMATION

〒554-0013 大阪府大阪市此花区梅香1-6-13
13時~19時
不定休(各種SNSなどで確認ください)
※店舗の定休日はシカク出版へのお問い合わせも対応できかねますのでご注意ください。
shikaku@uguilab.com
http://uguilab.com/shikaku/(お店)
http://uguilab.com/publish/(出版)
n_SHIKAKU konohanashikaku



今月1位に輝いたのは、団地愛好家集団・チーム4.5畳が団地についてディープに語り尽くす雑誌『団地ブック』の増刊2号! モノクロで文字が多めの本誌と、カラーで写真中心の増刊号、どちらも人気のシリーズです。

第2位の町山・宇多丸映画語り本はすっかりランキング常連。人気で品切れのことも多いですが、タイミングを見計らって購入してほしいです!

第3位は大阪人による大阪アンソロジー『わりかしワンダーランド』。実はシカク代表たけしげも寄稿しています。みんな読んでね!

特典:オールカラーで団地を撮影する